

日本大学 桜樹会会報

第 4 号

昭和46年4月

日本大学桜樹会

目 次

昭和45年度会員総会議事録	2	
" - 決算報告	4	
" 事業及び行事報告	5	
昭和46年度行事予定	6	
総会に想う	鶴見 興人	7
会員名簿訂正	9	
会費領収について	総 務	10
春季合宿を終えて	男子主将 椎 名 昇	11
編集後記	12	

昭和45年度会員総会議事録

3月14日(日) 午後2時~5時

日本体育協会会議室

出席者 (顧問) 門脇, 遠藤
(35卒) 稲橋
(36卒) 平川, 堀田, 吉川
(38卒) 早田
(39卒) 小栗, 小松
(40卒) 鶴見
(41卒) 岩沢, 海谷, 荻込, 佐藤,
中原
(42卒) 岩田
(43卒) 朝倉, 今村, 佐久間, 常
井, 早川
(44卒) 近藤, 津村(口), 津村(多)
(45卒) 椎野, 関口, 仁木, 原,
山本
(46卒) 瀬上, 宮川, 渡辺, 斉藤
(多), 稲谷, 赤上, 池田,
斉藤(博), 佐藤, 島崎, 山
崎, 伊東, 梶, 相原, 竹
本, 酒井

以上出席45名

委任状49名分

議 事

議長選出 議長 吉川 輝
書記選出 書記 小松武雄, 海谷美代
子

1. 報告事項

(1) 昭和45年度決算報告(鶴見)

(本誌P4参照)

○ 口座について質問(46年卒竹本)

○ 手数料, 現在高等について説明

(鶴見, 稲橋)

○ 監査の結果, 相違なきことを確認

(小松)

(2) 昭和45年度事業及び行事報告(鶴見)

(本誌P5参照)

(以上, (1)(2)について承認。)

2. 協議事項

(1) 会則の一部改正

○ 幹事について(鶴見)

「幹事は従来の, 各卒業年度代表と
いう方法ではなく, 実質的に活動可能
な人を, オープンで選びたい。」

(協議の結果, 鶴見案に決定。人員は
10名)

条文は次の通り改正

第6条 幹事若干名→幹事10名

第7条 幹事は卒業期生の互選とし,
→幹事は会長これを指名する。

(2) その他

○ 音信不通の会員の取扱いについて

(稲橋)

「音信不通の会員については、幹事会で除名ということも検討されている。本年度は実施をみおくるが、考慮しなければならぬ時期にきているので、同期生間で呼びかけて、本会との連絡を密にしてほしい。」

3. 新入会員承認の件

- (1) 45年3月卒業 43名
 - (2) 36年卒保坂(推薦者早田)・40年卒大坪(推薦者鶴見)・40年卒塩田(推薦者稲橋)・43年卒菅原(推薦者朝倉)
- (以上47名の入会を承認。)

4. 役員改選

会長 稲橋恒行(留任)
副会長 石井征也()
堀田淳二()
幹事長 吉川 輝()
幹事(3月30日会長指名)
平川文雄, 早田卓次, 小栗郁郎,
中原 剛, 朝倉徳雄, 津村二郎,
原 弘吉, 木村多喜, 海谷美代子,
津村多賀子
総務 菊地君男(留任)
鶴見興人()
会計監査 芳尾 明()
小松武雄()

○ 選出経過

(堀田) 副会長辞退の意とともに、持ち廻り法を提案。

(早田) 堀田案に賛同せず、適任であるとして留任希望。

(稲橋) 幹事10名については、若い人で、連絡が密にでき、在京の人という条件で選出したい。後日、手紙で連絡。

(注 この条件に添って、3月30日、前掲10名を選出した。)

(吉川) 幹事10名と、ブロック幹事とは任務が異なるので、混同しないように。

5. 昭和46年度事業及び行事計画

(1) 体操部関係(早田)

(本誌P6参照)

(2) 桜樹会関係(鶴見)

(本誌P7参照)

○ 桜樹会関係の行事に関しては、具体的なことが決り次第連絡するので、多数の参加を希望する。

○ 会報の発刊は、年3回(4, 8, 12月)とする。将来は、研究報告誌として育ていきたいので、多数の投稿を希望する。

また、近況報告なども、どしどし投稿してほしい。特に地方におられる方々の投稿を歓迎する。

○ 対外試合には今後とも、積極的に参加していきたいので、特に新卒者の参加を

望む。将来は男子・女子チームをつくることを目標としている。

名前が載っている人だけが指導部という考えではなく、時間の許せる限り、どしどし後輩の指導にあたってほしい。

6. その他各部より

(1) 競技部 (小栗)
OB・OG多数の試合参加を望む。

(4) スキー教室 (朝倉)

技術に関係なく楽しく滑る、あるいは宿で楽しく過ごすことを主旨としているので、多数の参加を望む。

(2) 審判部 (海谷)
審判員証の書替を忘れないように。

(5) 門脇副部長より

また、なるべく多くの方が、1種を取
得してほしい。

審判員認定に関する規則の概略、特に修正された項目について説明。

(3) 指導部 (朝倉)

昭和45年度決算報告

収入の部

項目	45年度決算	備考
前年度繰越金	26,841	
会費 (現金納入)	72,500	過年度分 26名 42,000 本年度分 24名 24,000 46.47年度分 4名 6,500
会費 (口座より 払出金) 3月10日現在	54,150	(口座内訳) 過年度分 13名 20,000 本年度分 38名 38,000 46年度分 5名 5,000 合計63,000 手数料 払出し 現在高 1,705 54,150 7,145
親睦会余剰金	2,597	
実演収入	25,000	45.4.30 紹介者 高田 演技者 45.5.5 " 林 早田 他
合計	181,088	

支 出 の 部

項 目	45年度決算	備 考
補 助 費	15,098	体操部, 桜樹クラブ懇親会
会 議 費	2,600	幹事会, 総会室代
慶 弔 費	10,000	香典(吉井公恵, 高島健治)
事務通信費	19,930	会報及び名簿送料 切手, はがき, 電話代他
印 刷 費	85,900	会報(第1号~第3号)名簿, その他
雑 費	5,922	封筒, ゴム印, その他
特別支出	20,000	前部長, 監督への記念品代
繰 越 金	21,638	
合 計	181,088	

昭和45年度収支決算を以上の通り報告いたします。

昭和46年3月12日

総務 菊 地 君 男 ㊟

鶴 見 興 人 ㊟

監査の上相違なきことを確認する。

昭和46年3月12日

会計監査 芳 尾 明 ㊟

小 松 武 雄 ㊟

昭和45年度事業及び行事報告

- | | | | |
|----------|---|--------------|--|
| 45. 7.12 | NHK杯兼, 世界選手権最
終予選会出場選手慰労会
(新宿)参加18名 | 10. 7 | 世界選手権出場選手(遠藤,
早田)壮行会(下高井戸)
参加21名 |
| 9.13 | 第4回はぜ釣り大会(東京
湾)参加14名 | 11.20~
23 | 第24回全日本選手権(神
戸) |

- 桜樹クラブ(男子)初出場
団体4位
- 12.5~26 第7回忘年会(千葉・洲の
崎)参加19名
- 46.1.3~5 第1回桜樹スキースクール
(志賀高原)参加15名
- 3.14 45年度会員総会及び親睦
会(体協)参加45名
- これら行事の他、45年3月に創刊され
た本誌も、その後、7月(第2号)、46
年1月(第3号)と発行され、現在に至っ
ている。
- 各行事の詳しい内容は、会報(第1号~
第3号)を参照されたい。

昭和46年度行事予定

◎ 体操部関係

- | | | |
|---------------------------------|--------------------------|----------------------------------|
| | 20~25 | 全日本インカレ(駒沢) |
| 4.12 | 入学式 | ? カナダ遠征(バンクーバ
ー, トロント他) |
| 18~25 | 国際体操競技会(ソ連) | |
| 28~ ⁵ / ₅ | 韓国遠征(実業団連盟)
会員海谷美代子同行 | 8. 3~5 インターハイ(高知市) |
| 11 | TBS杯 } 部内予選会 | 14~15 第1回選抜競技会兼アジ
アジュニア選手権予選会 |
| 18 | 東日本 } (文理
インカレ } 体育館) | (駒沢)(高校, 大学20
才以下) |
| 5. 9 | TBS杯(駒沢or代々
木) 対日体大 | 17~18 第二回全日本中学選手権
大会(早大記念会館) |
| 6. 4~6 | 東日本インカレ(水戸) | 19~20 アジア地区コーチ会議 |
| 5 | 職場体操発表会 | 20 アジア選手権大会審判講
習会(体協) |
| 25~27 | NHK杯(横浜文化体育
館) | 9. ? 新体操世界選手権大会
(キューバ) |
| ? | 新体操世界選手権日本代
表決定競技会 | |
| 中旬 | インカレ, 部内予選会
(文理体育館) | 10. 24~29 国民体育大会(和歌山市
県営体育館) |
| 7. 9~11 | 新体操全日本インカレ
(駒沢) | 中旬 全日本選手権部内予選会
(文理体育館) |

- 1.1.12~14 全日本新体操選手権大会 (岡山)
- 14 1種公認審判講習会(体協)
- 20~23 全日本選手権大会(甲府市)
- 27~28 日ソ対抗(モスクワ他)
- 1.2.4~5 第2回中日杯(名古屋)
- 12 全日本社会人大会
- ? 体操部納会(文理体育館)
- 1. 上旬 " 新年会(")
- 2. ? 卒業生送別会

※ インカレが、久しぶりで東京にて開催されます。ご声援をお願いします。

◎ 桜樹会関係

- 9. 中旬 ハゼ釣り大会(東京湾)
- 1.1.12~14 桜樹クラブ全日本参加(岡山)
- 1.2.第1土・日曜日 忘年会(千葉洲の崎)
- 1. 2~5 桜樹スキースクール(志賀高原)
- 3. 第3日曜日 会員総会

※ 春季強化合宿

4.6年3月19日~24日
 練習会場 銚子市体育館
 宿 舎 銚子黒生センター
 参加人員 70余名

※ 以上の他、各種競技会の際は、開催地において会員懇談会を行ないます。

※ 行事日程については、決定次第、会報等を通じてお知らせいたします。

※ インタハイ }
 インカレ } の際は、OB懇談会を計画
 国 体 } しておりますので、多数の
 全 日 本 } ご参集をお願いします。

総 会 に 想 う

鶴 見 興 人

社会人として、会社あるいは、職場から報酬を得ている以上、年にたった一日でも都合のつかない日がある。プロスポーツ界ほど、その人の働きが極端にあらわれないので、ついあまえてしまっているが、動めているから

には、仕事に対して自分の責任を全うするのは当然のことである。今回の総会で、菊地総務が、勤務先の入学試験でどうしても都合がつかず、出席できなくなってしまった原因を考えた時、勤めの厳しさを思い知らされると

共に、大いに反省させられた。

菊地総務ほど桜樹会を愛し、なんとか育てようと情熱を持っている人は、200名余りになる会員の中にもいないといって過言ではないと思う。その中心になる人が総会に出席できないのは、桜樹会発足以来はじめてである。菊地総務のいない桜樹会はずから考えられない。C.Mではないけれど、「クリープのないコーヒーなんて…」と同じほどの、もの足りなさを感じた。総務のいない総会を、どのように運営するか？ ひとりで考えてみても不安はつるばかりなので、会長はじめ、総務と相談の上、幹事の力をかりるべく、総会の前に話し合いの機会をつくり、いろいろ検討を重ねた。また、前日には総務の家を訪ね、会計、行事報告、その他総会で必要な事柄をメモし、まるで一夜漬けて試験を受けるような気持だった。試験は一夜漬けてもなんとかなるけれども、こればかりは実際にやっている人でなければできないことである。結果は満足のいくものでなかったにしろ、どうにか理解して戴けたと思っている。

桜樹会の会員は、それぞれ自分達の職場を持っているわけで、ひとりが一生懸命やっても限度がある。ひとりひとりが少しづつ力を出し合えば、今まで以上のすばらしい会に発展するのではないだろうか。

総会のために、わざわざ遠くから駆けつけて下さった地方会員の方をはじめ、出席された人達に、十分納得のいく総会にできなかった

点、大変申し訳けなく思うと同時に、これにこりずにどんどん出席してもらいたいと願わずにはられない。

いろいろな理由で出席できない会員でも、往復ハガキで通知を出したら、返信ハガキに一筆書き添えてポストへ入れてくれれば、200名余りにもなる会員の連絡をとっている者にとって、どんなにうれしく、また励みになることか。(菊地総務と奥さんがほとんど宛名を書いています。)往復ハガキが来たら返事を出すのは常識、デパートとか、どこかの団体のアンケートとばわけがちがう。

会員のなかには、教職についている人が多いけれど、自分の教え子にそういう教育ができないくらいなら、教師として恥かしい限りだ。少くとも他人の子供をあずかる人であれば、そのくらいの常識をもってもらいたいのだと、教師に限らず、社会人の常識として心得る必要があるのではないか。

住所録、会報、その他の通知を出しても、全く反応のない会員は、総会で会長が話した通り、除名ということも考慮されていることを、もう一度良く頭に入れて欲しい。

利害関係をぬきにして、楽しく飲み、かつ話し合い、歌える会は、一生を通じて、学生時代から生れたこうした会しかありえないと思う。会費はともかく、ハガキ一枚で自分の存在を明らかにできるのだから……。とにかくそうした会員の自覚を求めたい気持ちでいっぱいである。

会員名簿訂正 (46年1月発行の名簿を

次の通り訂正して下さい。)

- 第1回 稲橋 恭子 (勤務先) 削除(退職)
- 第2回 岩本 忠喜 (自宅電話新設) 0489(64)4535
" 芳尾 明 (現住所) ²²¹横浜市神奈川区羽沢町字大道947番地 2-4-301
(電)045(381)9252
- 第4回 大場 穰 (現) 転居先不明に付削除
- 第8回 小柴 守夫 (勤務先) 市立筒井台中学(転任)
" 佐々木盛一 (姓) 近藤
(現) 689-31 鳥取県西伯郡中山町岡521
" 常木 節子 (姓) 常本はミスプリ
- 第9回 佐久間寛美 (勤) 作新学院 (電)0286(61)5898
- 第10回 飯島 好美 (現) 950 新潟市女池1156 渡辺マンション14号
" 近藤 明 (勤) 私立京北高校 (電)03(941)6253
" 松岡多賀子 (姓) 津村 (勤) 削除(退職)
(現) 津村二郎に同じ。
- 第11回 伊谷 正一 (現) 転居先不明に付削除
" 印宮 享 (現) "
" 川口 潔 (現) 八郎瀧町大道18-4
" 関口全代 (現) 156 世田谷区桜上水4-10-5 室方
" 網島 路正 (勤・電) 0465(3)6591~3
" 仁木 文子 (勤) 東洋企画 (電)0222(57)5911
(現) 983 仙台市原町南目字町144
" 松田 明 (自宅・電) 02422(2)2037

新入会員

- 第3回 保坂 弘一 (勤) 菊屋建設 02857(4)0057
(現) 321-45 栃木県芳賀郡二宮町久下田924

02857(4)0057

- 第 6 回 大坪 哲夫 (勤) ㈱ササキスポーツ 03 (260) 5604
 (現) 354 埼玉県入間郡大井町大字亀久保字鶴舞74
- " 塩田 和秀 (勤) ㈱金本屋呉服店 08773 (2) 3356
 (現) 764 香川県仲多度郡多度津町本町1丁目
- 第 9 回 菅原真紀男 (勤) オーエヌ体力づくり教室 03 (984) 9565
 (現) 170 豊島区東池袋4-38-15 もがみ荘8号

03 (971) 3314

※ 第12回生(46年3月卒), 43名については, 勤務先, 現住所が決定次第お知らせします。

尚, 新卒者の皆さんは, 上記事項についてなるべく早く, 菊地または, 佐藤 均君宛ご連絡下さい。

会費領収について

総 務

第3号に引続き, 46年1月11日以降, 46年3月31日現在までの納入状況です。
 皆様の本会に対する関心も年々高まり, 納入状況も一段とよくなってきました。感謝いたします。

尚, 今回より, 現金にて納入された方に対してのみ, 本会より領収証を発行し, 口

座にて納入の方に対しては, 会報誌上に発表することでご了承願うことにいたしました。(局発行の領収証を保存して下さい。)

また, 口座をご利用の際には, 払込通知票裏面にある通信欄を活用されて, 近況, 移動等お知らせ戴ければ幸いです。

。 現金にて

(会計年度45年度分)

46.	2.25	武田 和子	2,500
	2.27	岩本 忠喜	1,000
	"	芳尾 明	10,000
	3.4	稲橋 恒行	2,500
	"	恭子	2,500

。 口座にて

(会計年度45年度分)

46.	2.8	近藤 明	1,000
	2.9	神崎 悦子	1,000
	2.10	船木 政明	1,000
	"	佐藤 勲	1,000
	"	岡田美恵子	1,000

46. 3. 4 工藤 昌二 1,000
 " 宇野 正信 1,000
 " 関口 全代 1,000
 " 波多野 伸 1,000

(会計年度46年度)

3.14 吉川 輝 2,000
 " 平川 文雄 1,000
 " 堀田 淳二 1,000
 " 岩沢 稔 1,000
 " 佐藤 勲 1,000
 3.15 宇津 豊 1,000

46. 2.10 門脇 隆 1,000

2.12 河原 正昭 1,000

2.15 大原 健司 1,000

2.18 高波 司雄 1,000

" 山内 悟 1,000

" 大塚 文夫 1,000

" 山田 隆士 2,000

2.22 高橋 房雄 1,000

" 田和 修 1,000

2.23 岡本 公子 1,000

" 石井 征也 1,000

" 川口 幸彦 1,000

2.26 安藤 泰行 1,000

2.27 高田 信興 1,000

" 小松 武雄 1,000

3. 2 中原 剛 1,000

(会計年度46年度)

3. 5 小栗 郁郎 1,000

" 松田 明 1,000

3. 8 井上 靖 1,000

3.16 舟山 忠広 1,000

3.23 堀田 敏明 1,000

3.25 藤田 幸男 1,000

春季合宿を終えて

男子主将 椎名 昇

春の合宿は、昨年は淡路島において行なわれ、練習の強化、部員の融和など、学生間にも深いまじわりができたと思います。

今年は、3月19日～24日の予定で、千葉県銚子市において行なわれました。当初合宿地がなかなか決りませんでした、先生方

の努力によって今回の合宿が行なわれることになりました。今回の合宿参加者は、新入生を含めて63名、コーチをあわせると70余名をかぞえました。

この合宿の目的は、練習の強化はもちろんのこと、部員相互の融和をはかることがあげられると思います。その点で、非常に成果があったと思います。

宿舎の環境も申し分なく、眼下には太平洋をみおろすことができ、朝のザリアも、すがすがしい潮風を吸って走りました。

練習においても、千葉県教育委員会のご協力によって、体育館の使用は選手のやり易

いようにとの心づかいがあり、効果的な練習をすることができました。また、今回の合宿をきっかけに購入されたVTRも、選手及びコーチの先生方に大変役立ったと思われます。参加者一同も、各方面の暖い援助に応じて、大いに練習に励みました。いよいよ5月にはTBS杯、6月には東日本インカレと試合が続きますが、今回の合宿が選手にとって大変プラスとなり、体操に対する意欲がわいたことと思います。

最後に、お忙しいなかを、わざわざ駆けつけて下さった諸先輩のご協力に、心からお礼申し上げます。

編 集 後 記

本号は、去る3月14日に行なわれた総会の特集号として、議事録を中心にまとめた。

今回の総会には、地方から多数の出席者があり、盛会であった。(註。刈込(茨城)、佐藤(福島)、常井(岡山)、佐久間(栃木))

年々本会への関心が高まり、こうして地方会員を迎えることは喜ばしい限りである。

また、3月29日には、全国高校選抜合宿のため、生徒を連れて上京中の三田、斉藤(秋田)、中島、山内(北海道)、佐久間(栃木)の諸氏を迎え、在京者20名余りを加えて下高井戸の幸寿司は大変な盛況であった。

久しぶりに会う仲間はいよものである。

飲み、歌い、語り、こうした集いのなかから本会に対する建設的な意見が生まれ、それが体操部発展の力となっていくのではないだろうか。

本年度より、会報は4月、8月、12月の年3回の発刊ということになった。皆様の投稿を心からお願いする次第である。

原稿送付先

千葉市花見川3-12-302

菊 地 君 男

(随時受け付けます。)